

柴田勝齋 しげさく 新聞記者。明治二十一年六月四日宮城縣生れ、昭和四十六年一月十八日没（二八八一—一九七二）。號柴庵。明治四十一年青山學院高等部卒。四十五年上山草人、伊庭孝等と近代劇協會を創設。翌年時事新報社入社、のち讀賣新聞社に轉じ編輯局長等歴任。戰後大阪新聞社論說委員など。

譯書、ストリンドベルク作『女學生』(柴田柴庵名、大正二年五月十日文學評論社、整頓社書店)、パピニー著『モキリ』(大正十二年一月十日文學評論社、整頓社書店)、パピニー著『モキリ』(大正十二年一月十日文學評論社、整頓社書店)。附録・岡田哲藏『パピニーのモキリスト傳』とその作意に關する作者の言(『ヨハン・ボイヤル作『世界の顔』(昭和二十九年九月)千八百寿星社)、岡田オスローの『女』(昭和二十二年六月五日萬里閣新社)等。

